

## セントレア・ゼロカーボン 2050 宣言 ～CO2 排出実質ゼロの実現を目指します～

中部国際空港株式会社は、2050年までに空港からのCO2排出について実質ゼロを目指す「セントレア・ゼロカーボン 2050 宣言」を表明いたします。

地球温暖化対策は国際社会共通の喫緊の課題であり、我が国においては、昨年10月に、2050年までに温室効果ガスの排出を全体でゼロとする「2050年カーボンニュートラル」が宣言され、さらに今年4月には2030年度の温室効果ガスを2013年度比で46%削減するとの新たな目標が示されたところです。

これまで、中部国際空港ではコージェネレーションシステムの導入、ターミナルビルへの太陽光発電システムの設置、水素エネルギーの活用など、環境負荷低減に取り組んでまいりましたが、この宣言を機にCO2排出実質ゼロを実現すべく、さらに取組みを推進してまいります。

今後とも、空港関係事業者等で構成するセントレアエコエアポート推進協議会をはじめ、国や自治体等と連携を強化し、CO2排出実質ゼロの実現を目指してまいります。

### セントレア・ゼロカーボン 2050 宣言

- ・ 2050年までに、空港の地上施設からのCO2排出について、実質ゼロを目指します。
- ・ まずは、国が掲げる2030年度の温室効果ガス削減目標（2013年度比46%削減）の達成に向け、取組みを進めてまいります。
- ・ 取組みの推進にあたっては、セントレアエコエアポート推進協議会、国、自治体など、関係者と連携・協力してまいります。

中部国際空港株式会社

代表取締役社長 犬塚 力



※ 今回の宣言におけるCO2削減の対象は、空港の地上施設となっております。

なお、代替航空燃料(SAF)の受け入れ体制の検討を始め航空機からのCO2排出削減等についても、航空局、航空会社等と連携して推進していきます。

## ゼロカーボン 2050 に向けた主な取組み

(セントレアグループによる取組み)

### ■再生可能エネルギーの活用

- ・ 空港施設への太陽光発電施設の導入
- ・ エアサイド用地等への太陽光発電施設の導入可能性検討



太陽光発電施設(第1ターミナルビル)

### ■空港施設の省エネルギー、エネルギー効率化

- ・ 空港主要施設(航空灯火、貨物上屋、事務棟等)の100%LED化
- ・ コージェネレーションシステムの改良
- ・ 省エネ機器への更新、社員による省エネ活動等

(空港関係者、地域等と連携した取組み)

### ■あいち・とこなめスーパーシティ構想<sup>※</sup>の推進

- ・ 最先端技術の導入による水素の利活用、エネルギー最適化等を推進

※ 2021年4月に、愛知県、常滑市が中心となり、空港島及び周辺地域に最先端技術・サービスの社会実装を目指す「あいち・とこなめスーパーシティ構想」を策定し、国に提案。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kikaku/supercity-aichi-tokoname-20210415.html>

### ■車両のEV・FCV化

- ・ GSE (Ground Support Equipment) 等の空港で使用される車両のEV、FCV化



燃料電池フォークリフト

### ■緑化活動の推進

- ・ 森林育成のための植林活動を推進



貨物地区水素充填所

### ■その他

関係者と連携・協力し、新技術の導入 (AI を活用したエネルギーマネジメント、水素発電等利用拡大、オンサイトでのCO<sub>2</sub>分離回収、メタネーションによる都市ガス利用等) やグリーン電力の購入等を検討



中部国際空港株式会社は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

